

「海自艦、後ろから来た」 釣り船乗船の2人、証言一致

2014年1月17日16時52分

印刷 | メール | スクラップ

広島県 大竹市 の阿多田(あたた)島沖で 海上自衛隊 の輸送艦「おおすみ」と釣り船「とびうお」が衝突して2人が死亡した事故で、とびうおの乗員でけががなかった伏田則人さん(67)が17日、報道陣に「おおすみは後ろから来て衝突した」と証言した。もう1人生き残った寺岡章二さん(67)の証言とほぼ一致しており、第6管区 海上保安本部 は両船の動きを慎重に調べている。

伏田さんは、とびうおの前部に前を向いて座っていたという。出航後まもなく、南進するととびうおの左側(東側)を航行するおおすみに気づき、予定より右側(西側)を走った。その後も100メートル程度の距離を保ちながらおおすみの右側を並走。おおすみの速度が遅かったため速度を上げておおすみの左前方に出た。この直前、タンカーのような大型船が向かってるのが見え、おおすみの汽笛が鳴った。

おおすみと50～100メートルの距離をとり、「安心して談笑していた」ところ、追い越してから10分ほど後に「ポーッという音が1回鳴るのと同時に突然おおすみが視界の右側に現れた」という。こすれるような音がして転覆。「気配に全く気づかなかった」と語った。

寺岡さんも「おおすみが後方から接近して衝突した」としており、2人の証言はおおむね一致している。

一方、6管は17日、とびうおの実況見分を再開し、船内から 救命胴衣 11着が見つかったことを明らかにした。とびうおの乗員4人は事故当時、救命胴衣 を着用していなかった。

また、事故で亡くなったとびうお船長の高森昶(きよし)さん(67)の葬儀が17日、広島市西区の斎場でしめやかに営まれた。(伊藤賢)

追い越し、食い違う証言 海自艦事故、乗船者と周辺島民(1/17)

「直前に貨物船」同船者語る 海自艦衝突、死者は2人に(1/16)

意識不明の船客も死亡 海自艦と小型船衝突(1/16)

意識不明の船長が死亡 海自艦と小型船衝突(1/15)

PR情報

【急募】年収800万円～2000万円の求人増加中！エン限定の非公開求人も多数

犯罪被害者をサポート～被害者参加制度が利用しやすくなりました-政府広報

英語がダメな人達が絶賛！バカ売れ「日本一」の英会話教材とは？

愛車を高く売るなら？40万円以上の差も！「下取り」VS「買取り」

トップ	社会	政治	経済・マネー	国際	テック&サイエンス	スポーツ	カルチャー
-----	----	----	--------	----	-----------	------	-------

トップニュース

朝日新聞デジタルトップへ

浜松の学校食中毒、原因は給食のパン 欠席者1千人超す (00:20)

NECグループ課長、8年間で15億円着服 刑事告訴へ (00:55)

和菓子の老舗・駿河屋が再生法申請 紀州徳川家から屋号 (00:43)

米の慰安婦像「速やかに撤去を」 日本の地方議員ら抗議 (00:08)

郷田九段3勝目、三浦九段を破る 将棋A級順位戦7回戦 (00:47)



もっと見る